

学年（1年生）・教科（国語）

1 単元・教材名

詩を読む 「汚れちまった悲しみに…」 中原中也

2 指導目標

・詩的表現の特質を理解し、様々なものの見方、感じかたに触れる

3 指導計画

	学習活動	指導上の留意点
導入	詩の朗読を聞き、リズム、心情などをとらえる。	詩の基調の音韻律に触れる。
展開	全体の流れの基調にある感情をとらえる。 比喩・擬人法などの表現を確かめる。 助詞「に」、「は」の違いを考える。	汚れと悲しみのつながりについて注目させる。
まとめ	汚れちまった悲しみの意味するものを考える。	

4 ICT活用のポイント

授業場所	コンピュータ教室
授業形態	一斉学習
ICTを活用する場面	導入 展開
ICTを主に活用する者	教員
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 繰り返しによる定着 詩全体のイメージをわかり易く、リズムよく提示
授業で利用した ICT 環境	パワーポイントファイルを生徒画面へ一斉送信する。 生徒はプリント教材に書き込む 書画カメラのビデオ配信で、文字を書く（漢字の書き方提示）

5 使用した教材

パワーポイントで作成した「汚れちまった悲しみに」

6 授業の流れ(ICTの活用場面)

静止画・・・教材の提示  
動画・・・朗読の音声を貼り付けて  
スライドと同期させる



成果と課題

教材を視覚・聴覚両面から生徒に効果的に提示することができた。特に表現技巧を理解するという知識・理解面での効果は大きかった。詩を取り扱う時には、ICT活用が効果的であると思われる。